

2021年度事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

1. 概況

埼玉県知的障害児者生活サポート協会がスタートし16年目となる2021年度は、新型コロナウイルスが2年にわたり猛威を振るう中で、事業を進めることのさらなる困難さと日常的な活動の不自由さを痛感させられる年となってしまいました。制度をご利用いただく多くの皆様にも大変なご不便とご迷惑をお掛けしてしまい多くの反省と課題を残す一年となってしまいました。

ただその中においても少しでも会員拡大活動を目指して、株式会社ジェイアイシーと連携し、特別支援学校での説明会を実施し、さらに未加入の施設へDM工作や障がいがある方の自立を支援する団体「クッキープロジェクト」に広告協賛団体として応援、参加し「埼玉県知的障害児者生活サポート協会」の団体名を広く知っていただく機会とさせていただきました。

また、助成金交付事業においては、事業実施にあたりコロナ対策費用計上に対し、助成金の交付を10万円増額する特例を設け、助成金交付事業の開催への一助としました。

今後とも「互助の精神」を忘れることなく、会員の皆様から頼りにされるサポート協会となるべく、より一層の努力をしてまいります。

2. 事業

(1) 会員拡大に向けた活動

新規加入者は373名、年度末会員数8,979名（A5,116名 B2,966名 C897名）

(2) 研修会

新型コロナウイルス感染予防のため中止

(3) 広報に関する活動

会報「埼サポ13号」発行 2022年1月1日（12,000部）

会員の方が、読みやすく親しみやすい内容となるようにオールカラーにした。

ページ数を6ページとし、会員の方から寄せられたアールブリュット展「作品」全てを紹介。助成事業報告として、支部が行った「研修会」の記事を掲載。サポート協会を広く知って頂くために、既存の会員以外に、特別支援学校卒業生への案内や新規加入希望者へのパンフレット送付時にも同封した。

(4) 助成事業

当会の助成事業は、2020年度は申請が4支部、実施した支部は3支部（257,691円）とコロナの影響を受けたが、2021年度はコロナ対策費用の特例措置を施行、実施9支部（1,383,756円）と拡大した。

	申請団体	実施日	助成金額
1	NPO 法人チャレンジ	11/27	194,929 円
2	久喜市栗橋手をつなぐ育成会	11/27, 11/28	198,000 円
3	光の家療育センター	12/3, 12/4, 12/5	108,934 円
4	社会福祉法人清心会	12/10	200,000 円

5	草加光陽育成会	12/17	104,393 円
6	かわせみ保護者会	2/19	200,000 円
7	NP0 法人のらんど 農（あぐり）	3/12	173,022 円
8	しびらき	3/17	154,478 円
9	クッキープロジェクト	3/28, 3/29, 3/30	50,000 円

① 支部 NP0 法人チャレンジ 11月27日実施

事業名：歌とピアノによる「ありがとうコンサート」

場所：久喜市栗橋文化会館 イリス

目的：コンサート実施、障害のある方の芸術鑑賞、地域の方との交流の場、グループホームでの生活の様子やその意義を伝える場として、共生社会の形成の一役を担う。

成果：コンサートの実施、芸術作品の展示を通し、障害のある方と地域の方との交流の場として、多くの方に伝えられた。

助成金：194,929 円

② 支部 久喜市栗橋手をつなぐ育成会 11月27日、11月28日実施

事業名：「栗橋アートフェスタ」

場所：久喜市栗橋文化会館 イリス

目的：アート展示を実施し、障害のある方の発信の場、健常者との交流の場とし、共生社会の一役を担う。

成果：障害のある方のアートの展示を通し、障害児者と健常者の交流、感動の共有の場となった。

助成金：198,000 円

③ 支部 光の家療育センター 12月3日～12月5日実施

事業名：「障害者アート展 in おごせ」

場所：里の駅・おごせ「観光センター」

目的：障害のある方に作品発表の機会を提供し、自己表現する喜びを体験いただく。

成果：出展作品 31 点、障害のある方当事者が、自身の作品を来場者に紹介するなど普及啓発の場となった。越生町内小中学校への案内配布、リモート会議システムによる中継等、広く作品展示の公開、来場者アンケートにより成果をフィードバックした。

助成金：108,934 円

④ 支部 社会福祉法人清心会 12月10日実施

事業名：ハラスメント防止研修

場所：オンライン開催

目的：ハラスメントのない明るい職場づくりに向けて

成果：社会保険労務士法人 吉池労務管理事務所 鈴木俊治様を講師として、パワハラ、セクハラ、マタハラについて講義し、周知した。

助成金：200,000 円

⑤草加光陽育成会 12月17日実施

事業名：草加光陽育成会 会員 DVD 作成

目的：コロナ影響下でのクリスマス会の発表の場として、各所属団体、施設の活動 を

写真や動画のDVDを製作し、楽しんでいただく。

成果：クリスマス発表会がコロナの影響で開催できなかったが、DVD作成企画により、会員のモチベーションが向上し、歌やダンスの練習に励めた。

助成金：104,393円

⑥かわせみ保護者会 2月19日実施

事業名：第32回かわせみ公開実践検討会

場所：高麗公民会館 農業研修センター

目的：障害施設をめぐる国、県・自治体の動向の研究、共有し、障害者の労働や生活、健康、暮らしの場の補償、就労について学ぶ

成果：全305ページに及ぶ「報告集」を作成配布し、実践会の実施内容を広く共有した。

⑦NP0法人のらんど 農 あぐり 3月12日実施

事業名：障害のある人のくらしを考える会

場所：浦和コミュニティセンター

目的：障害者の実例をもとに、生活全体を、介助に実際にかかわってきた方17名から実行委員6名とオンライン参加者と意見交換し今後につなげていく。

成果：実際の介助者6名、オンライン参加者14名、当事者との意見交換により、当事者意志の汲み取りや生活への課題を共有。

⑧しびらき 3月17日実施

事業名：「桜区顔の見えるネットワーク会議

特別企画 虐待防止・権利擁護について学ぼう」

場所：オンライン開催

目的：障害者支援の基本となる、虐待・権利擁護について地域で学ぶ機会とする。

成果：オンライン開催により26名参加、虐待・権利擁護について研修し、日頃の支援に直結して有意義であった。

助成金：154,478円

⑨クッキープロジェクト 3/28～3/30 実施

事業名：クッキーバザール2022

場所：浦和コルソ+オンラインバザール

目的：障害者の経済的自立を支援、福祉作業所の販売戦略、商品開発について、支援する

成果：売上客数1133客、売上金額1,350,124円

助成金：50,000円

3. 会議の開催

(1) 定期総会

開催日：令和3年6月9日（木）母子福祉会館事務所2階 出席及び書面表決

審議事項 第1号議案 2020年度事業報告承認の件

第2号議案 2020年度決算報告承認の件

第3号議案 2020年度監査報告承認の件

第4号議案 役員改選（案）について

事業報告事項 ①2021年度事業計画について

②2021年度収支予算について

(2) 理事会

①第1回理事会 開催日 5月20日 ZOOMにて開催

審議事項	第1号議案	2020年度事業報告について
	第2号議案	2020年度決算報告について
	第3号議案	理事、監事の改選について
	第4号議案	令和3年度助成金事業実施に伴う特例について
	第5号議案	社員総会の日程及び開催方法について

②第2回理事会 開催日 3月17日 ZOOMにて開催

審議事項	第1号議案	サポート協会事務局規程改定について
	第2号議案	フルタイム勤務契約社員就業規則改定について
	第3号議案	助成金事業交付金、特例措置（コロナ対策）について
	第4号議案	2021年度事業計画と予算（案）について
	第5号議案	サポート協会事務所移転について

(3) 臨時理事会

①第1回臨時理事会 開催日 6月9日 母子福社会館 事務所2階

審議事項	第1号議案	代表理事（理事長）・副理事長の選任について
	第2号議案	助成金事業の特例について

②第2回臨時理事会 開催日 8月31日 母子福社会館 事務所2階

審議事項	第1号議案	サポート協会の組織体制強化推進に伴う今後の方針について
	第2号議案	令和3年度サポート協会会計補正予算（第1号）
	第3号議案	令和3年度関東甲越ブロック会議の開催について

4. 全国知的障害児者生活サポート協会および関東甲越ブロックとの連携

(1) 全国サポート協会主催 アールブリュット展に応募

73名 社会福祉法人清心会、川の郷福祉会おれんじ、のびっこ、初雁の家

(2) 第15回関東甲越ブロック会議開催

全国サポート協会主催会議の幹事県として運営。ZOOMオンライン開催

開催日 11月18日 オンライン開催 68名参加

(1都8県サポート協会、全国サポート協会、AIG、JIC)

助成金 168,191円 ブロック会議資料作成、配布送料として実費、
全国サポート協会より入金